



2021年度 活動報告

樹木・環境 ネットワーク協会

もくじ

P4. トピックス

P11. 事業別報告

P21. 会員

P22. 役員・職員

P24. 財務報告

2021年度はコロナ禍も2年目を迎え、私たちにできることを粛々と続けることに終始した1年だったという印象です。慌てず、騒がず、これまでやってきたことを信じて続けてきたことで、それを認め、賛同し、評価していただいたと実感する出来事もありました。これもひとえに、協会の活動に共感して一緒に歩んでくださった会員や関係者の皆さまのおかげと、感謝の念に堪えません。

次々と沸き起こる災いに直面し、見通しのつかない不安にさいなまれているとき、人と自然、人と人との関わりを求めるのは、人として根源的なことでしょう。そうした普遍的なものを基盤とした私たちの活動は、これからも必要とされるものであると感じています。2022年度のスタートをきるにあたり、改めて2021年度の活動を振り返っていきます。

NPO法人 樹木・環境ネットワーク協会
理事長 清水 善和

ミッション

人と自然が調和する 持続可能な社会をめざして

人の暮らしと自然の豊かさを保つことを両立し「持続可能な社会」を実現するためには、より多くの人々が自然とふれあい、自然について学び、自然の美しさや重要性を実感することが必要です。私たちはそんな思いを共有する人々に支えられて、活動を展開してきました。人々の思いを集め、森や里山、そして社会へ届けるために集う場所であり続けたい。樹木・環境ネットワーク協会の「聚（しゅう、『集』の旧字体）」という愛称には、そんな思いが込められています。



活動目的

森づくりや里山再生、人材育成、普及啓発活動などを実践しながら、「人と自然が調和する持続可能な社会」を目指す。





- TOPICS **1** 指定管理への挑戦から学んだこと
- TOPICS **2** 新しい森づくりに向けて動き
- TOPICS **3** 検定会場の広がりと活動の広がり
- TOPICS **4** グリーンセイバー企画
- TOPICS **5** 若者が伝える聚の活動～たのしいブログ報告

事業実績

	2020年度	2021年度
活動回数	25回	27回
参加者数	589名	687名
指導者数	73名	85名

※GS、会員、一般・外部講師含む

※環境コミュニケーション事業、グリーンセイバー事業に該当する活動





公園に座り込み、どうしたらいい公園になるか、街が元気になるかを議論した。

TOPICS **1** 指定管理への挑戦から学んだこと

21年度、多摩市の公募事業である「多摩中央公園」の公園管理に挑戦。これまで協会としての実績がない中で、協力法人として参画し、事業計画の作成に携わりました。残念なことに結果には至らなかったものの、多くの関係者と議論を重ねるなかで、今後目指そうとしている里山公園や、新設の公園において必要とされること、指定管理のノウハウを学ぶことができ、次につなげるためのステップとすることができました。

また、プロジェクトを通じて、多くの個人・団体とのつながり、人脈ネットワークを得られたことも大きな成果でした。



TOPICS 2 新しい森づくりに向けての動き

・コロナ禍の2年目のもとの、フィールド活動を継続してきました。関東地域では各所でナラ枯れが広がり、その対処に追われています。

・森づくりの観点として「防災×森づくり」をテーマに、他団体とのコラボレーションの講座を行いました。これまで注目されてこなかった、土と水と空気、そして微生物・菌類などの働きや役割を知り、それらを活かして土中環境を改善していく技術を学ぶものです。土中環境の改善は崩れにくい山をつくれます。全4回の講座でグリーンセイバーの皆さんも参加しました。

・これまでの地道な森づくりの活動が評価され、いくつもの団体・企業から多くの寄付をいただきました。気候変動、生物多様性への関心の高まりも反映していると考えられます。



岡山会場



岡山会場の方の活動場所

仙台会場



仙台会場の方の活動場所

TOPICS 3 検定会場の広がりと活動の広がり

2021年度は、東京、大阪、岡山に続いて、仙台でも新たにグリーンセイバー検定の会場を設けました。各地域のグリーンセイバーのみなさんに会場の手配や当日の試験監督をお願いしています。グリーンセイバーは全国を対象としているものの、検定会場が限られていることが課題でしたが、少しずつさまざまな地域で受験ができるようにしていきたいと考えています。

ゆくゆくは地域で誕生したGSのみなさんを核に、活動の拠点を広げ、距離を超えて活動の情報交換や交流を広げられるようなネットワークをつながたいと考えています。



TOPICS 4 グリーンセイバー企画

コロナ禍による活動の自粛も継続してきましたが、観察会等のイベント企画については最大限の対策を講じながら実施してきました。

グリーンセイバーの勉強会を兼ねた企画としては、初めての沖縄での企画を実施。観察ハイキング、ナイトウォッチングなど、沖縄ならではの自然に触れ学びました。

3月に実施した子どもわくわくプロジェクト「ススメ！子ども忍者」では、多数の申し込みがあり、163名の方が参加しました。これまでにない参加者人数ではあったものの、グリーンセイバーの方々の協力により無事に実施できました。

育苗研究会、ひとり一木などの研究会もオンラインを活用して実施されました。

NPO法人樹木・環境ネットワーク協会ブログ

主に活動報告を発信していきます。

プロフィール

カテゴリー

100冊の絵本

☆ハケ岳ワーキング

☆和歌山ワーキング

☆小笠原

☆御杖村フィールド(奈良)

CSR

GS企画

□海の森(東京)

□上野動物園(東京)

□小石川植物園(東京)

◎TAMAZO(多摩動物公園)

◎レッツ久宝保接縁(久宝寺緑地・大阪)

◎二宮・竹の里(神奈川)

◎二宮蜜柑倶楽部(神奈川)

◎文野森フィールド(大阪)

◎千葉おぐらの森

◎南星台フィールド(大阪)

◎嵐山ふれあいの森(埼玉)

◎本町田宿ふるさとの森(東京)

◎武蔵野の森から学ぼう(東京)

◎町田・三輪里山(東京)

◎関西聚

みんなの自然体験

イベント

グリーンセイバー

スキルアップ

セミナー

事務局より

企画展示

ブログ訪問、ありがとうございます



「協会ブログ」では活動
下記のブログもぜひご

グリーンセイバー人材
全国で活躍するグリー

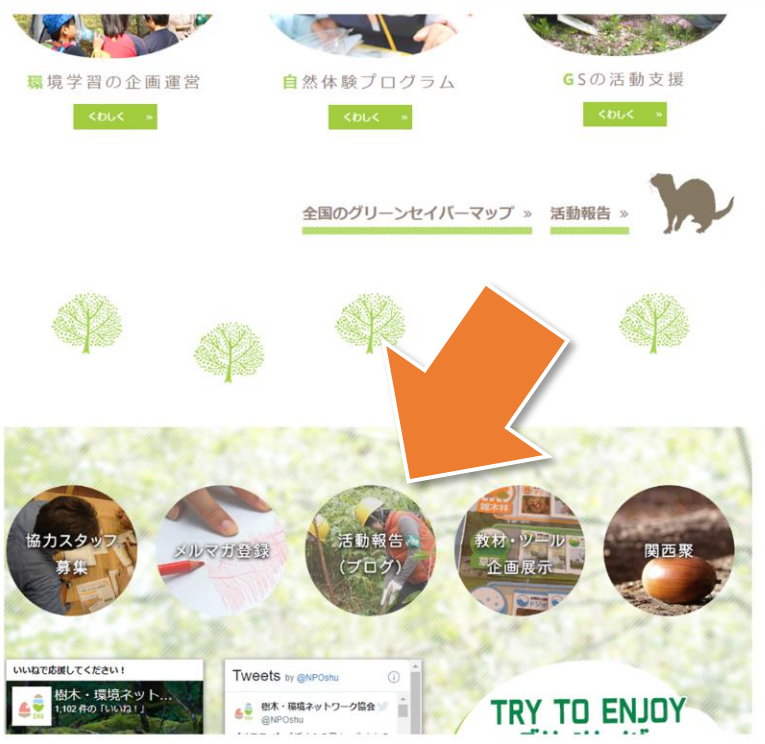
グリーンセイバー的ク
グリーンセイバーマスタ
自身の経験をベースに

参加者募集中のイベン
樹木・環境ネットワー

2016.09.14 事務局より

2022.03.08

3/5(土) 定例活



TOPICS 5 若者が伝える聚の活動～たのしいブログ報告

協会のインターン制度では、損保ジャパン環境財団の運営するCSOラーニング制度のほか、DotJP、または個人でインターンを希望する学生の受け入れを行っています。

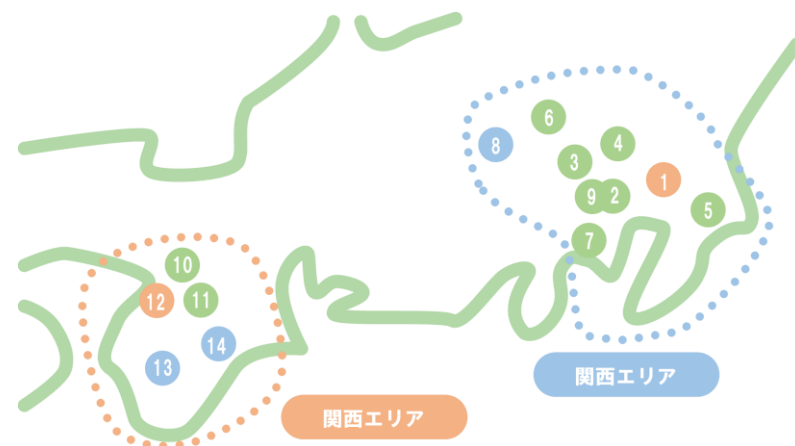
当協会の公式ブログは、主に学生であるインターン生が担当しています。フィールド活動やGS企画などに積極的に参加し、ブログを作成。活動報告や広報の一端を担う活動です。聚の活動がどのように映り、どう感じたのかをつぶさに伝えてくれる、若者ならではの新鮮な視点からの報告は、フィールドやGS企画の現場のみなさんから喜ばれ、活動の励みになっています。



フィールド事業



14箇所のフィールドにおいて、保全活動を推進してまいりました。



- 里山の保全・再生・活用
- 都市の緑を守り育てる
- 宿泊型ワーキング

関東エリア

- 1.上野動物園 緑化ボランティア
- 2.町田・三輪里山フィールド
- 3.多摩動物公園雑木林 TAMAZO
- 4.武蔵野の森から学ぼう
- 5.千葉おぐらの森
- 6.嵐山ふれあいの森
- 7.二宮蜜柑倶楽部
- 8.八ヶ岳ワーキング
- 9.本町田宿ふるさとの森

関西エリア

- 10.交野森フィールド
- 11.奄山ふれあいの森
- 12.レッツ久宝探検隊・自然学習ゾーン
- 13.御杖村フォールド
- 14.和歌山ワーキング

新型コロナウイルスによる自粛の影響で、休止のつづくフィールドもありますが、多くのフィールドで感染症対策を講じながら保全活動を実施しました。

そのような中でも、次のような新しい取り組みが始まりました。

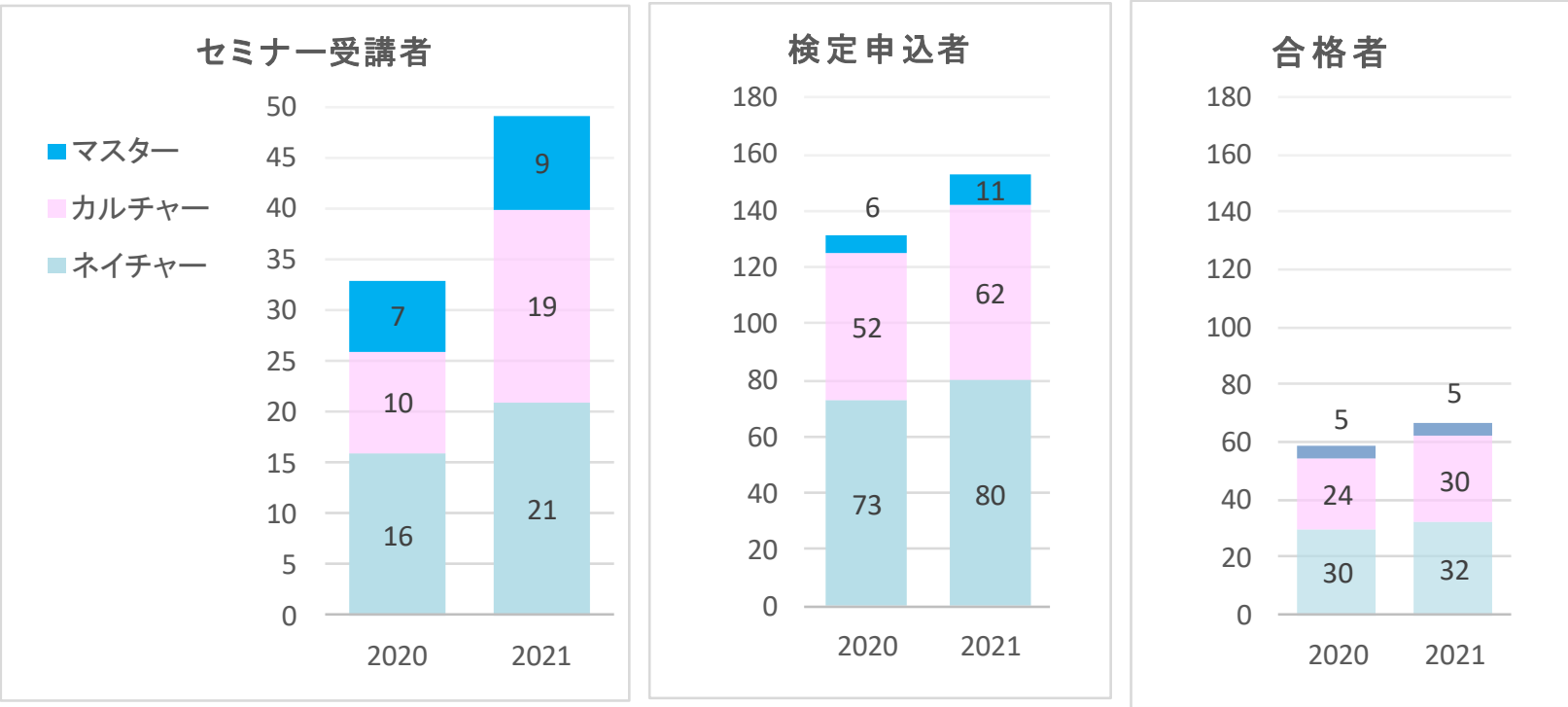
- 三輪の森ビジターセンター展示物制作
三輪里山フィールドに隣接するビジターセンター。運営は市直営ですが、センター内展示の制作を行いました。（詳細はP19）
- 武蔵野の森での「森のようちえん」の実施
森の近隣の保育園から森の案内を依頼され実施。森を探し葉っぱで遊ぶプログラムを行いました。
- 「奄山(えんざん)ふれあいの森」活動がスタート。2団体の協働での保全活動となります。
- 和歌山フィールドの新しい展開として、里山的な暮らしの実践を行っています。企業の活動も受け入れ、今後の展開にも注目です。

2021年度活動回数（全フィールド） 206回
参加者 1377人

グリーンセイバー事業

グリーンセイバー資格検定

新しい科目のネイチャー・カルチャーが始まって、2年目を迎えました。コロナ禍のなかではありましたが、初年度よりもセミナー、検定の申込者数、合格者数ともに若干増加しました。会場についても、東京、大阪、岡山に加えて仙台会場も追加設定しました。
新しく誕生したグリーンセイバーたちが、フィールド活動、グリーンセイバー企画へと積極的に活動を展開しています。



グリーンセイバー企画

グリーンセイバーが企画するイベントも、コロナの影響で15の企画のうち、11の企画が実施され、4の企画が中止になりました。2020年度よりも実施できた企画が増えました。

●これからはじめる自然観察
自然に興味はあって、もっと知るために一歩踏み出したいという方向けの気楽に参加できる観察会。

4回実施 参加者41名 GS20名

●自然と親しむ講座
自然に関する知識やノウハウをもう少し深く学びたい、ステップアップしたい方向けの講座的プログラム。

4回実施 参加者62名 GS5名

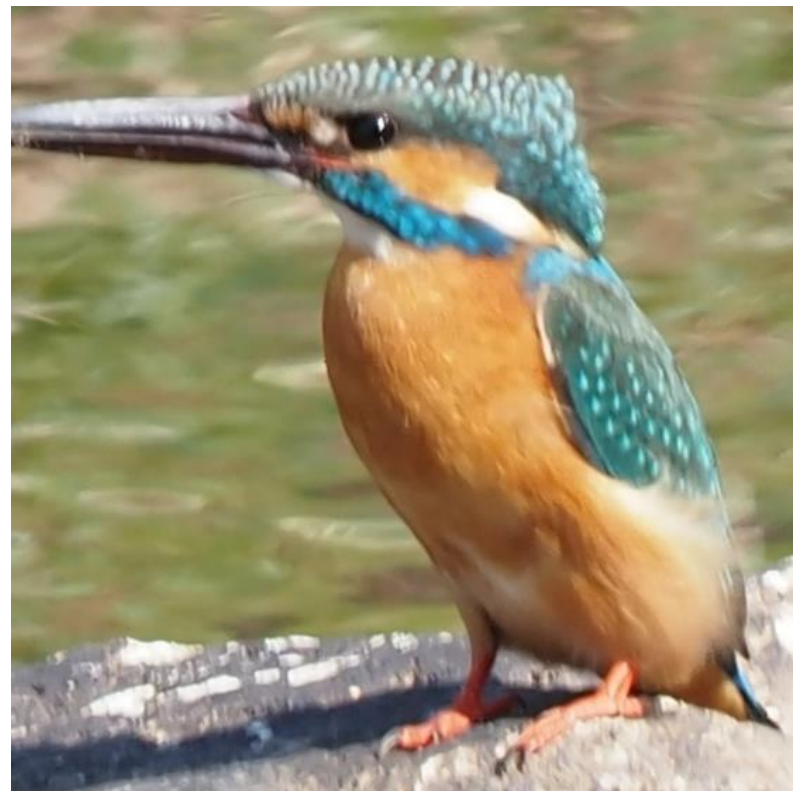
●子どもわくわくプロジェクト
青少年を対象とした自然の不思議や魅力を五感で楽しむ自然体験プログラム。

3回実施 参加者192名 GS28名

GS研修・勉強会

グリーンセイバーによる自主的な学習の企画は、オンライン方式をフルに活用して実施されました。

- ひとリー木
- フェノロジー研究会
- 植物育苗勉強会
- やんばる研修
- 春の道草観察会



環境 コミュニケーション事業



新型コロナウイルスの影響により、多くの活動を
自粛・中止することとなりました。

【フィールドでの受入れ】	4件
【環境イベントの協働実施等】	2件
【森づくり関連】	0件
【研修や授業の実施】	4件
【所有緑地の管理・活用】	0件
【オンライン研修等】	3件
【環境ツールの制作、企画展示】	3件

参加者 約392名（累計）
※不特定多数はカウントしていない

実施にあたり関わった指導者（累計）
GS 32名 / 会員0名 / 一般・外部講師4名

駒沢大学 里山授業の実施

清水理事長の務める駒沢大学の特別講義に招かれ、里山とSDGsの講義を行いました。SDGsにおける森の役割と里山ゲームを用いたワークショップを行いました。

協働イベント

・防災×森づくり

森づくりフォーラムと大地の再生との共催で実施した全4回の講座。オンラインと実践をまじえ、土中環境の改善により災害を起こしにくい森づくりを学びました。

・環境教育関東ミーティング

毎年行っている環境教育関東ミーティングは、関東周辺の環境教育を実践している団体や個人の交流・情報交換の場です。今回は千葉に場所を移して実施。コロナ禍に配慮し、少人数の実施となりましたが、インターンの柴田さんがプログラムを実施するなど活躍しました。

制作物コーディネート

・カブトムシの紙芝居

日野市内で雑木林の保全活動をしている団体が制作した紙芝居。監修と制作を当会にて行いました。紙芝居は今後子どもの観察会などで活用されます。

・SDGsバッジ

昨年度制作したバッジ。好評につき追加制作もしていますが、評判が広まり企業からの制作依頼も受けました。

オンラインでの講座・観察会

・海の森オンラインツアー（凸版印刷）

海の森の様子を写真・動画で配信。森の成長の様子をはじめ、海の森のいまとこれからを伝えるオンラインツアーを行いました。

・沖縄の海から学ぶ Youtube（ローソン）

沖縄の自然と島ならではの問題を取りあげた環境教育動画の監修・撮影対応を行いました。

学生インターンの受入れ

SOMPO環境財団、DotJPによる学生インターンの受入れを行っています。ブログをはじめ様々な活動に参加しています。

行政との 協働・委託事業



指定管理への挑戦

21年度は、多摩市の公募事業Park-PFIに挑戦した一年でした。公園の改修と管理運営の公募では、日比谷アメニス、日建設計、一社スマートを構成団体にしたJVに協力団体として参画。応募提案において、運営面、イベントの提案等に携わりました。残念ながら落札はできなかったものの、指定管理の応募というとても貴重な経験をすることができました。また応募を通じてつながった団体やネットワークは、これからもさまざまな活動で生きてくると考えています。



広報・運営

活動への理解を深める情報発信

ホームページ、聚レター、パンフレット、メルマガ、各種SNS等で、団体としての基本情報と、参加者募集や活動実施報告などを発信するとともに、活動への理解をより深めてもらうために、長年続けている活動の振り返る、総まとめ的なコンテンツの作成にも力を入れました。

聚レター158号では、8年目に入った東京都町田市立三輪小学校での里山体験授業を特集。今後、学校での環境学習支援事業を紹介するための参考資料として活用したいと考えています。

協会ブログでは、活動に参加してくれたインターン生による報告が好評です。ユニークな視点、初々しい感想、臨場感のある写真や文章に、ご注目ください。

広報 運営



特集

三輪小学校 里山体験授業

「みんな仲良し三輪の仲間」
町田市立三輪小学校
東京都町田市三輪町330番地1



聚レター電子版

Amazon Kindleで 聚レター電子版を発売

2020年12月発行の聚レター155号より、アマゾンで電子版の発売を開始しました。155号から最新号までと、協会案内として編集した特集号の144号を発売中。紙版からの移行についてはまだ検討中ですが、条件が整えばすぐに移行できるように準備しながら、当面は併用していく予定です。

三輪の森ビジターセンターの 展示制作

町田市の依頼で、町田三輪里山フィールドに隣接する「三輪の森ビジターセンター」の展示を作成しました。三輪の森の概要を紹介する常設展示と、四季折々の魅力を伝える「見どころ自然マップ」の2タイプで、三輪の森で見られる植物やいきものの写真はグリーンセイバーの皆さんに提供してもらいました。今後、ビジターセンターの運営にも参画したいと考えています。

全国の会員との情報共有を強化

2020年にスタートした「パートナーズ・ボイス・プロジェクト」を継続。オンライン意見交換会を2回実施し、そこから生まれた新しいプロジェクトが動き始めています。また、コロナ禍で悪化した経営状況への取り組みと現状の報告、定期的な運営会議の実施など、会員との情報共有をさらに強化しました。

活動への共感が 寄付へつながる事例が増加

HP等での情報発信や活動への共感、理解がご寄付につながる事例が増加しました。今後も有意義な活動を推進していくうえで、たいへん心強く、励まされる思いです。また、寄付用の振込用紙を一体化し、寄付返礼品の紹介を掲載したご寄付専用チラシも作成したことも、多くの方のご寄付につながりました。この場をお借りして、あらためてお礼申し上げます。

寄付返礼品

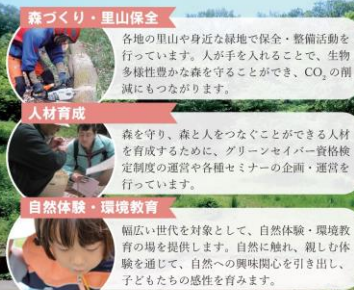


三輪の森ビジターセンターの展示



里山を守る活動を 応援してください。

樹木・環境ネットワーク協会は、森づくりや里山保全、子どもたちの自然体験・環境教育、これらを推進する人材の育成に取組むNPO法人です。さまざまな活動を通して、豊かな自然とそこで育まれる感性を次の世代へつないでいきたいと考えています。私たちの活動に、ご理解、ご支援、ご協力をお願いいたします。



森づくり・里山保全
各地の里山や身近な緑地で保全・整備活動を行っています。人が手を入れることで、生物多様性豊かな森を守ることができ、CO₂の削減にもつながります。

人材育成
森を守り、森と人をつなぐことができる人材を育成するために、グリーンセイバー資格検定制度の運営や各種セミナーの企画・運営を行っています。

自然体験・環境教育
幅広い世代を対象として、自然体験・環境教育の場を提供します。自然に触れ、親しむ体験を通じて、自然への興味関心を引き出し、子どもたちの感性を育みます。

くわしくはホームページへ

00160-0 148494

00160-0 148494

00160-0 148494

00160-0 148494

00160-0 148494

00160-0 148494

00160-0 148494

00160-0 148494

00160-0 148494

00160-0 148494

00160-0 148494

00160-0 148494

00160-0 148494

00160-0 148494

00160-0 148494

00160-0 148494

00160-0 148494

00160-0 148494

00160-0 148494

00160-0 148494

00160-0 148494

00160-0 148494

00160-0 148494

00160-0 148494

00160-0 148494

00160-0 148494

00160-0 148494

00160-0 148494

00160-0 148494

00160-0 148494

00160-0 148494

00160-0 148494

00160-0 148494

00160-0 148494

00160-0 148494

00160-0 148494

00160-0 148494

00160-0 148494

00160-0 148494

00160-0 148494

00160-0 148494

00160-0 148494

00160-0 148494

00160-0 148494

00160-0 148494

00160-0 148494

00160-0 148494

00160-0 148494

00160-0 148494

00160-0 148494

00160-0 148494

00160-0 148494

00160-0 148494

00160-0 148494

00160-0 148494

00160-0 148494

00160-0 148494

00160-0 148494

00160-0 148494

00160-0 148494

00160-0 148494

00160-0 148494

00160-0 148494

00160-0 148494

00160-0 148494

00160-0 148494





**GS登録 49%
(224名)**

正会員 (計439名)

個人会員	373名
家族会員	39名
団体会員	9団体
法人会員	18社

準会員 (計17名)

賛助会員	14名
ユース会員	3名

入会 40名 退会38名

21年度は入会が退会よりも多くなりました。
気候変動やカーボンオフといった社会的課題を受けて、森林保全ボランティア等への関心が高まっているのかもしれませんが。一方で、活動の場がない・活動の機会がない・高齢になったといった理由で退会される方も依然として多いことも事実です。
全国どこにいても、一緒になって活動が続けられるように参加しやすい形を目指したいと考えています。
またユース会員も増えており、インターン活動等学生参加の促進が望まれます。

法人会員

株式会社アテナ
株式会社エスパシオ
NECネットエスアイ株式会社
株式会社新生銀行
株式会社昭栄
損害保険ジャパン日本興亜株式会社
大和不動産鑑定株式会社
株式会社高橋総本店
東京ガス株式会社
東京ガス不動産株式会社
東京シティライオンズクラブ

凸版印刷株式会社
トヨタ自動車株式会社
株式会社ナカムラ・コーポレーション
株式会社美交工業
株式会社ひむか造園土木
株式会社ユーエム工業
株式会社ローソン

【最高顧問】池田 武邦

【顧問】山本 光二

【顧問】澁澤 寿一

【理事長】清水 善和

【専務理事】佐藤（中西） 由美子

【理事】飯塚 勇

【理事】大川 英登

【理事】小笠原 幹治

【理事】岡本 俊彦

【理事】片山 雅男

【理事】川端 自人

【理事】小林 健人

【理事】小和田 祐子

【理事】後藤 洋一

【理事】塚本 秀貴

【理事】広瀬 攻

【理事】藤井 英夫

【監事】三尾 隆志

【監事】吉田 寛

樹医

前理事長

駒澤大学総合教育研究部教授

グリーンセイバー・マスター

株式会社丸原ホールディングス代表取締役

御杖村フィールドリーダー

株式会社アテナ 顧問

グリーンセイバー・マスター

神戸教育短期大学児童教育学科元教授

グリーンセイバー・マスター

NPOフュージョン長池 理事

東京ガス株式会社 サステナビリティ推進部長

事務局長

グリーンセイバー・マスター

三輪里山フィールドリーダー

トヨタ自動車株式会社 先進技術開発カンパニー 環境部

公認会計士

公認会計士 公会計研究所 代表

【事務局スタッフ】

専務理事 中西 由美子

理事・事務局長 後藤 洋一

スタッフ（東京） 石崎 庸子

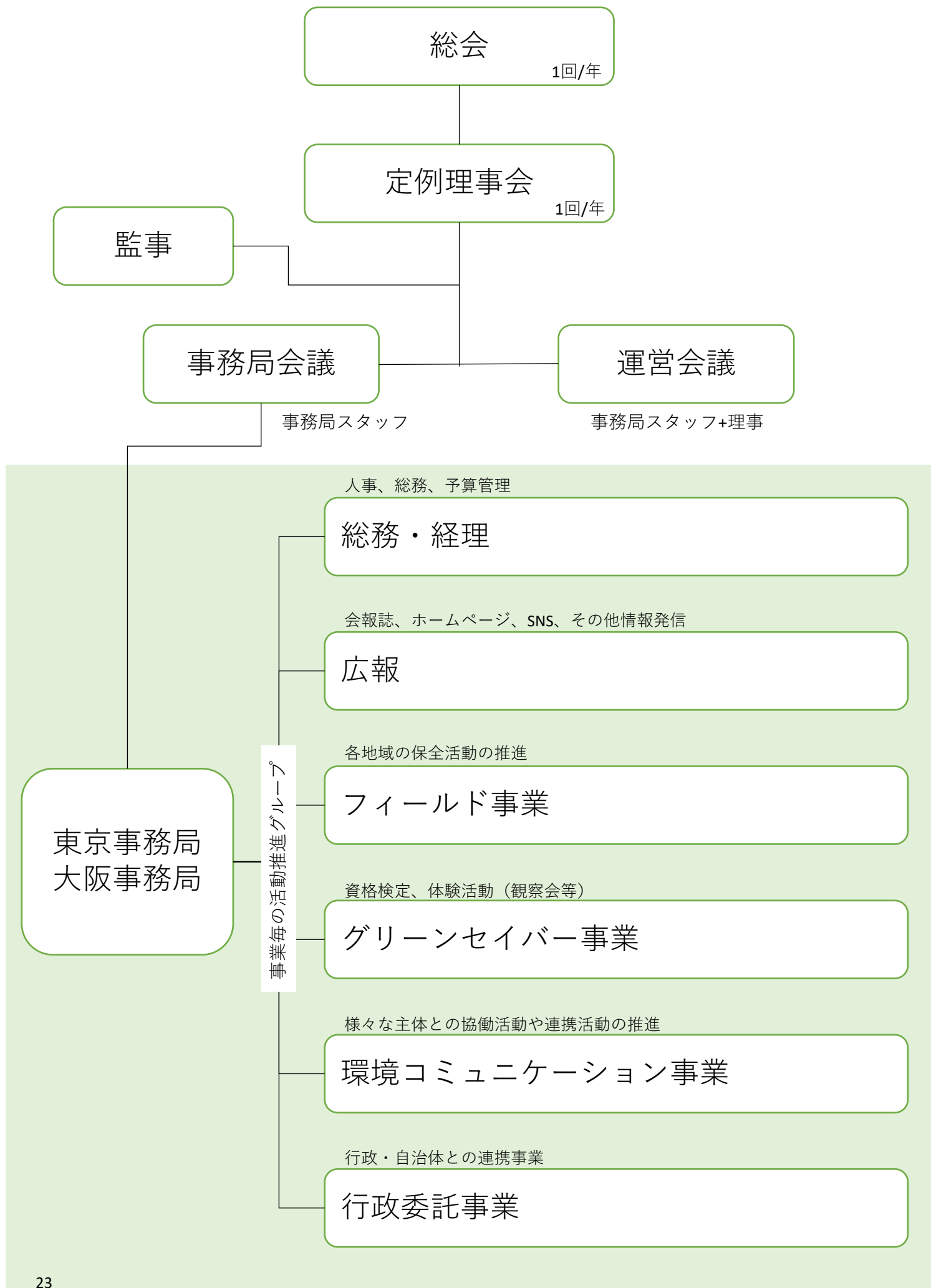
スタッフ（東京） 加藤 武

スタッフ（東京） 陣野 益実

スタッフ（大阪） 山本 睦子



NPO法人樹木・環境ネットワーク協会 運営・組織図



2021年度 財務報告

※この成果報告書は吉田寛氏の「公会計における財務諸表利用者としての納税者」
『(国府台経済研究第13巻第1号)』に掲載された表示形式を利用しています。

収支・成果報告

発生費用の部: 活動のためにかかった費用		非営利活動		2021年度合計
		2020年度	2021年度	
事業費	総務・管理	¥3,656,738	¥4,266,758	
	広報	¥3,517,021	¥3,190,879	
	グリーンセイバー事業	¥3,679,904	¥2,809,110	
	フィールド活動事業	¥4,050,452	¥3,569,960	
	環境コミュニケーション事業	¥7,797,224	¥4,847,449	
	行政委託事業		¥230,343	
税金	法人税・住民税・事業税	¥150,000	¥150,000	
棚卸高	期首商品棚卸高			
	期末商品棚卸高			
発生費用合計		¥22,851,339	¥19,064,499	¥19,064,499

費用負担の部: その費用は以下のように負担しました。		非営利活動		2021年度合計
		2020年度	2021年度	
受取会費	会費負担分	¥3,836,000	¥3,532,000	
受取寄付金		¥2,697,341	¥5,774,890	
受取助成金		¥400,000	¥771,000	
事業費収入	グリーンセイバー事業	¥2,614,754	¥2,611,892	
	フィールド活動事業	¥3,371,154	¥2,051,462	
	環境コミュニケーション事業	¥7,344,986	¥4,688,434	
	行政委託事業		¥235,950	
事業外収入	雑収益・受取利息	¥2,651,217	¥1,200,032	
費用負担額合計		¥22,915,452	¥20,865,660	¥20,865,660
当期正味財産増減額		¥64,113	¥1,801,161	¥1,801,161

貸借対照表

(単位 : 円)

科 目	金 額	科 目	金 額
I 資産の部		II 負債の部	
1 流動資産		1 流動負債	
現金	75,498	未払金	1,131,745
普通預金	4,531,691	前受金	1,663,000
郵便振替口座	879,621	預り金	48,271
未収金	2,275,000	仮受金	274,887
前払金	7,800	流動負債合計	3,117,903
前払費用	162,800		
流動資産合計	7,932,410	2 固定負債	0
2 固定資産		負債合計	3,117,903
有形固定資産			
車両・運搬具	453,600	III 正味財産の部	
減価償却累計額	△453,599	前期繰越正味財産	3,442,547
有形固定資産合計	1	当期正味財産増減額	1,801,161
無形固定資産		正味財産合計	5,243,708
商標権	74,000		
敷金	355,200		
無形固定資産合計	429,201		
固定資産計	429,201		
資産の部合計	8,361,611	負債・正味財産の部合計	8,361,611

新型コロナウイルスの影響で多くの事業が縮小・中止になり、運営面で大きな課題が出ている中、多くの支援をいただきました。
ご支援いただきました皆様に深く御礼申し上げます。

2021年度の寄付および助成金等の実績は以下のとおり

●寄付

個人の寄付

83件

合計496,067円

法人・団体の寄付

- ・ホンダ販売労働組合
- ・渋谷ふれあい植物園
- ・(株) Salad (GREEN PARKマラソン)

- ・(株) ジャックス
- ・JAL財団
- ・大和ハウス (株)
- 他1件

7件

合計4,171,093円

寄付プログラム

- ・朝日ライフセットマネジメント「あすのはね」
- ・KDDI「キボウノカケハシ」
- ・SoftBank「つながる募金」
- ・(株) ブギ「Book募金」
- ・ボーダレスジャパン「ハチドリ電力」

5件

合計1,107,730円

●助成金

- ・公益) イオン環境財団 (町田・三輪)
- ・埼玉県みどりの活動支援金 (嵐山)

2件

合計771,000円

●給付金

- ・月次支援金 (中小企業庁)
- ・事業復活支援金 (中小企業庁)

2件

合計1,200,000円

個人情報保護の観点から個人名の記載は控えております。あらかじめご了承ください。

監 査 報 告 書

特定非営利活動法人 樹木・環境ネットワーク協会の
2021年度決算について監査の結果、事業報告は事業の内容
を適切に反映していると認めます。

2022年5月12日

特定非営利活動法人

樹木・環境ネットワーク協会

監事 三 尾 隆 志 

三 尾 隆 志

監事 吉 田 寛 

吉 田 寛



団体概要

【組織】

団体正式名称 特定非営利活動法人樹木・環境ネットワーク協会
設立 1995年9月19日
ホームページ <https://www.shu.or.jp/>

○東京事務局

[住所] 〒101-0052 東京都千代田区神田小川町3-6
日本分譲住宅会館ビル8階南
[Tel] 03-5244-5447 [Fax] 03-5244-5448
[Mail] info@shu.or.jp

○大阪事務局

[住所] 〒576-0033 大阪府交野市私市5丁目17番11号
[Tel] 072-893-1716 [Fax] 072-892-3247
[Mail] kansai.syu1@nifty.com
[HP] <http://kansaisyu.o.oo7.jp/index.html>